



第20回「野生生物と社会」学会大会犬山大会  
公開シンポジウム

# フィールドミュージアムの可能性を探る



野生動物が生息する現場で研究者と市民が協働し、博物館活動（研究・教育・普及）を行いながら保全をめざす取り組みが始まっています。この“ハコモノ”をもたないフィールドミュージアムについて、その考え方と各地の活動をご紹介します。

2014年  
**11月1日 Sat.**  
13:00～

犬山国際  
観光センター

**フロイデ**  
フロイデホール

入場無料

参加申込不要

1. 趣旨説明  
湯本貴和（京都大学霊長類研究所）
2. 屋久島野外博物館構想の20年  
手塚賢至（屋久島生物多様性保全協議会）
3. ウミガメ調査・研究は博物館活動だった  
亀崎直樹（岡山理科大学／神戸市立須磨海浜水族館）
4. イルカウォッチングを中心とした御蔵島のエコツーリズム  
小木万布（御蔵島観光協会）
5. アマゾンのフィールドミュージアム構想  
幸島司郎（京都大学野生動物研究センター）

主催 | 「野生生物と社会」学会  
共催 | 京都大学霊長類ワイルドライフ・サイエンス・リーディング大学院, 日本モンキーセンター  
後援 | 犬山市, 犬山市教育委員会